

## 「バイオマスエネルギー」を知っていますか？



バイオマス燃料の一つであるペレット燃料。ペレットとは英語で「小さい塊」の意。間伐材や木くずなどを小さく固めて作ります

バイオマスとは、もともと生物 (bio) の量 (mass) のことで、エネルギー源や原料として使うことができる、再生可能な生物由来の動植物資源 (化石燃料は除く) の総称です。

バイオマスエネルギーは、燃やしてもその際に排出されるCO<sub>2</sub>がもともと大気中から光合成によって動植物の体内に固定されたものであることから、正味の排出量はゼロの自然エネルギーで、古来から薪や炭のようにすでに身近に利用されています。

バイオマスの種類としては、木材(木くず)、海藻、生ゴミ、紙などの有機物です。今日では、地球温暖化防止などに向けて、新たな技術による活用が可能になり、化石燃料に代わる新たなエネルギー源として期待されています。

市では、低炭素社会の実現に向けて、木質バイオマスの利用を積極的に促進するために、今年度からペレットストーブ・薪ストーブの購入、ペレット燃料の助成制度を新たに設けました。皆さんの暮らしの中でバイオマスエネルギーを活用しましょう。



しかし、産業革命以後、石油などの化石燃料の消費や森林伐採などによって温室効果ガスは急速に増加しており、今までのバランスが崩れつつあります。このため地球表面付近の気温は徐々に上昇しており、地球は過去に例がないほど人間活動の影響を受け、気候が変動しつつあります。

### 国民の9割が「低炭素社会を実現すべき」

地球温暖化は、私たち人類にとってますます深刻な問題となっています。大気や海洋の温度がそのまま上昇すれば、気候変動はま

すます激しくなり、人類だけでなくあらゆる生物の生存に重大な影響を及ぼすこととなります。

地球温暖化の主な原因は、温室効果ガスの排出量の増加であると言われています。温室効果ガスの排出を抑えることで地球温暖化を抑制できるのであれば、わたしたちが何をすべきかは、おのずと見えてきます。それがCO<sub>2</sub>の排出が少ない「低炭素社会づくり」なのです。国が行った「低炭素社会に関する特別世論調査」でも、低炭素社会を実現すべきと答えた人は9割にも達しており、その関心の高さがうかがえます。

#### 補助対象経費

- ① ストーブ補助金 本体、煙突、付属部品、壁貫通工事、防火工事、取付施工料の1/3以内の額(限度額…1台につき10万円)
- ② ペレット 10kg当たり1,000円(限度額…年額1万円)

\*①、②とも平成21年4月1日以降の適用となります。購入設置する前に相談ください。

#### 問合せ先

環境課  
35-3467

#### ピックアップ② エコな暮らし モデル住宅で提案

高山の木材使ったエコ住宅建設市では、公園などに隣接する緑豊かな場所に環境に配慮した住宅「エコハウス」の木造2階建てのモデル住宅の建設を計画しています。

この事業は、「エコハウス」の普及を目指す環境省の事業で取り組むもので、高山市を含む全国20カ所が選ばれました。市では、高山の木材と木質資源を利用し、最新のエコ技術や飛騨の伝統建築技術などを活用しながら、寒冷多雪地域に対応した木造エコハウスを提案していく計画です。

\*関連議案を市議会定例会に上程します。

#### 問合せ先

環境課  
35-3467